

花巻支部ニュース

発行所
岩手県看護協会 花巻支部
令和 7年 2月 発行
第 87号

公益社団法人岩手県看護協会花巻支部

支部長 吉田 道子（岩手県立東和病院）

ごあいさつ

寒さが和らぎ、待ち望んだ春が近づいていると感じられる季節となりました。会員の皆様にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。令和6年度岩手県看護協会花巻支部長を務めております、岩手県立東和病院の吉田と申します。平素より花巻支部の活動にご理解ご協力を賜り御礼申し上げます。新型コロナウイルス感染症との長期戦の闘いを継続しながら、今年度はインフルエンザ感染者も多く、病院、施設等においては感染対策に苦慮されていることと思います。

さて、当支部では今年度、感染対策を行いながら参集での講演会、研修会、地域住民健康相談等の活動を実施して参りました。今年度皆様から頂いたご意見を元に、次年度も興味を持って参加いただけるような活動を展開していきたいと考えております。引き続き花巻支部の活動にご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

「看護の日」

社団医療法人 敬愛会 宝陽病院 鳥屋部 春香

5月11日花巻市コープアウルにて市民48名の参加をいただき「看護の日」のイベントを行いました。血圧測定や体脂肪測定のブースでは健康上の不安や心配なことにアドバイスをする機会となりました。また、グリッターバッグを用いた手指衛生体験ブースでは、大人からお子様まで手洗いについて楽しく学ぶことができたという評価をいただきました。多くの市民の方に参加いただき良いイベントになりました。



「看護職の職場における心理的安全性」を受講して

独立行政法人国立病院機構花巻病院 野又 淳

6月1日(土)花巻市交流会館にて、独立行政法人国立病院機構花巻病院公認心理師心理療法士 阿部敏達氏をお招きし、『看護職の職場における心理的安全性』をテーマにご講義いただきました。

心理的安全性の狭義には、「チームの他のメンバーが自分の発言を拒絶したり罰しないと確信できる状態」とあり、大まかに心の安全をいうならば、事故なく無事仕事を終える、患者や職員に信頼される、心地いい疲労感で気持ちよく帰宅できるということが心理的安全であるとのことでした。また、「看護職は患者との物理的、心理的に近い職種であると同時に診療で最初に出会う医療職であること、そして、入院中も365日24時間患者を見続けている非常に距離の近い職種であるからこそ看護職に心理的安全性が必要である」とのことでした。

今回の講義で、私たち看護職には心理的安全性がとても大切なのだと実感しました。看護職は医療の中の“要”であり、その分負担も大きく、心理的安全性を脅かされやすい職種ではありますが、今回の阿部氏のご講義が皆様の職場環境の心理的安全性を作るきっかけとなったのではないかと思います。

「令和6年度花巻支部研修会—感染対策について—」

独立行政法人国立病院機構花巻病院 野又 淳

10月12日(土)花巻市交流会館にて、公益財団法人総合花巻病院感染管理認定看護師の吉田優氏より「感染対策について」の講義をしていただきました。病院や施設、訪問看護ステーション等で働く看護師や保健師31名の参加となりました。新型コロナウイルスが5類感染症となったとはいえ、医療にかかわる看護職には平時から



継続した感染対策が求められています。講義の中では、感染対策の基本的な考え方として「病原微生物を持ち込まない」「持ち出さない」「拡げない」ことを常に意識し、患者・職員の体調の変化を見逃さない健康観察やワクチン接種の重要性について詳しく教えていただきました。感染対策の要であり、部署の即戦力となるリンクナースの育成・支援が大事であることも教えていただきました。感想では「病棟を代表してリンクナースとして活動してくれているスタッフを支援する関わりが大事だと感じた。」「感染管理認定看護師と連携をとるきっかけになったので、今後活用していきたい。」「健康管理や標準予防策の徹底、患者の健康管理など、すぐできることなので、スタッフへも声をかけ行っていきたい。」など前向きな意見が多数聞かれました。感染管理認定看護師の配置がない施設ではとても貴重な講義となりました。



「地域住民健康相談」

花巻市 こども家庭センター 鎌田 晶子



10月28日(月)花巻市文化会館大ホールにて「花巻市認知症セミナー」に併せセミナー参加者を対象に健康相談を実施しました。岩手県中部地域型認知症疾患医療センター(国立病院機構花巻病院)との合同企画で、認知症疾患医療センターではもの忘れチェック、当支部では血圧測定や体脂肪測定を行いました。45名ほどの参加があり、体調や普段の生活の様子などを伺いながら、日々の健康管理や認知症予防等について、参加者と一緒に考える時間となりました。参加された方は普段から血圧を測ったり運動を習慣にしたりと、健康への意識が高い方が多く、「認知症予防の最新動向」「自宅でできる脳トレ体験」の講演にも興味を持って参加していただけたようでした。今後も、行政や地域の医療機関等と協力しながら、地域住民の健康の一助となるような企画を継続していきたいと思えます。

「高齢者施設への出前研修開催」

岩手県立東和病院 伊藤 美智子

12月18日(水)特別養護老人ホーム東和荘で「褥瘡対策とケアについて」をテーマに皮膚・排泄ケア認定看護師 石亀桂子氏を講師に出前研修を行いました。東和荘で働く介護職員10名を対象に、褥瘡予防の実際、スキンケアについて学びました。講義後、職員が実際に体位変換とポジショニングを体験し、質疑応答では拘縮の強い利用者に対する体位変換のポイントや、膀胱カテーテルの管理についてなど積極的に多くの質問があり、石亀氏を囲んで有意義な時間となりました。研修後アンケートでは「褥瘡発生までの流れがわかりやすかった。スキンケアや体位変換で予防していきたい。」「保湿する際、今までの塗り方が間違っていた。本日学習したやり方で行いたい。」「ギャッチアップ後の背抜きの大切さが理解できた。」「短時間だが良かった。出前研修もありがたい。」などの感想がありました。高齢者施設において毎日のケアに活かせる研修となりました。



～編集後記～ 今年度より支部だよりの発行は年1回に変更しました。また、令和7年度からは紙面での配付は行わず県看護協会のホームページに掲載することとなりました。アナログからデジタルへ、時代に即して変更することとなりました。今年度の活動も残り僅かとなりました。次年度も皆様のご協力をお願いいたします。

【連絡先】花巻支部長 吉田 道子 岩手県立東和病院 TEL: 0198-42-2211

【編集委員】書紀 佐藤 克則